



今月の表紙

3月18日、かわまた認定こども園で卒園式が行われました。卒園証書の授与が行われたほか、「さよならぼくたちのこどもえん」を大きく口を広げて歌い、42名の園児が晴れやかな表情で園舎から巣立ちました。卒園おめでとう！



マチを好きになるアプリ



▼ダウンロードはこちらから



ios用



android用

▼川俣町公式ホームページ・各種 SNS はこちら



Instagram



X



Facebook



Ka-LINE

毎月1日発行

川俣町役場（福島県伊達郡川俣町字五百田 30）



Tel (024)566-2111

https://www.town.kawamata.lg.jp/

E-mail:soumu@town.kawamata.lg.jp



CONTENTS - 主な内容 - 2025_4 April

- 03 第34回 川俣美より
- 04 特集 藤原一二町政 第2章 始動
- 06 4月1日から新たなデジタルサービス開始 窓口利用が便利に快適に
- 08 地元密着通信
- 10 まちのわだい
- 12 4・5月のイベント
- 14 今月のスマイル/川俣歴史探訪
- 16 子育て情報navi/健康だより
- 18 各課からのお知らせ
- 24 わたしの夢

“春コスキン”開催

観覧無料

コスキン ・エン・ カワマタ

4.13日 10:00 ~ 13:00

会場 中央公園野外音楽堂

中南米音楽祭「フォルクローレ」の春の祭典です。大人から子どもまで、フォルクローレのまち川俣の演奏チームとダンスチームが一堂に出揃います。どなたでもお楽しみいただけますので、ぜひ、足をお運びください。

問い合わせ 中央公民館 (TEL565-2434)

暮らしの手帳

人の動き -population-

令和7年3月1日現在（前月比）

人口	10,822	(-17)
男	5,360	(-9)
女	5,462	(-8)
世帯	4,646	(-1)

今月の休日当番医 -doctor-

6日	むとうこどもクリニック	TEL 565-2435
13日	鈴木内科医院	TEL 565-2688
20日	済生会川俣病院	TEL 566-2323
27日	済生会春日診療所	TEL 566-2707
29日	あんざい整形外科クリニック	TEL 565-3511

※あんざい整形外科クリニックには、2名（整形外科、内科含む）の医師が在所しています（在宅当番医時のみ）。

救急車を呼ぶべきか迷ったら（24時間対応）

#7119 福島県救急電話相談 ※繋がらない場合は 024-524-3020 まで

毎日（午後7時～翌朝8時）の子どもの症状の相談

#8000 福島県こども救急電話相談 ※繋がらない場合は 024-521-3790 まで

田代和久

故郷の味が 私の原点



1950年4月1日生まれ。/川俣町大字小島字田代出身。高校卒業後、上京して調理師専門学校へ。その後、都内のフランス料理店を経て79年、29歳で渡仏。3年間修業を積み、帰国後、銀座のフランス料理店でシェフを3年間務め、86年に「ラ・ブランシュ」オープン。

小島田代地区で撮影

小島地区、特に田代での思い出は、この町に足を運ぶたび鮮明に思い出します。友人と泥だらけになって遊んでいたことや朝早く学校に行き餅を焼いて食べたこと。家では自分で山羊の乳を絞ったり卵を採って食べたことなど、当時、今のように肉を気軽に食べたり、野菜を買って食べることはありませんでしたが、振り返ると、今の時代にはできないとても贅沢な生活をしていただんだと思います。

また、29歳の時に渡仏して3年間修行をしましたが、帰国し「味」について考え始めると、不思議なことに生まれ育った川俣で食べた料理の味が私の味覚の

原点になっているのだと気づきました。例えば、肉の代わりに油揚げの入った黄色い「カレーライス」、味噌で焼いた「しそ巻きおにぎり」、味のしみた「ひきないうり」などいわゆる「おふくろの味」です。実は「おふくろの味」は和食に限ったものではありません。フランス料理にも、それ以外の国の料理にも「おふくろの味」が存在します。日本

に帰ってきていかに「おふくろの味」が自分にとって大切な味だったのか、大切にしていかなければならないのかを強く感じるようになりました。「おいしい」ものはどの国の料理でも「おいしい」のですがその感覚は故郷の味に帰属しているのではないかと私は思います。みなさんの「おいしい」はこの川俣町にあるのかもしれない。



漬物を刻む田代シェフ



ひきないうりクレープ包み



料理教室で挨拶する様子